

## 「IHI グループ特集号」の発刊にあたって

代表取締役社長

最高経営執行責任者 齋 藤 保

2012年の世界経済は、欧州の債務問題や新興国の成長の鈍化などの影響で、先行き不透明です。日本経済についても、電力不足の問題や、円高の定着など厳しい状況にあります。IHIグループは、このような環境下だからこそ「技術をもって社会の発展に貢献する」の経営理念を貫いて、より一層技術を磨き、世界一のものづくり技術をもってお客様の要望にお応えします。そして、事業の成長・拡大や新事業へ積極的に取り組み、世界経済の回復に貢献して参ります。

さて、IHI 技報では、グループ技術戦略 2010 の策定を機に、2010年9月「IHI グループ特集号」を企画し、IHI グループの製品・技術を記事にてご紹介しました。おかげさまで、これまで以上にIHI グループ製品の技術を知っていただくことができました。

2012年は、グループ経営方針 2010 の最終年度であることから、グループの技術をあらためてご紹介したく、今回は論文・解説を中心に「IHI グループ特集号」を企画しました。IHI グループ各社のさまざまな製品とそれを支える技術に、理解を深めていただきたく存じます。

また、2012年は、IHI グループにとって転機であることにも触れなければなりません。IHI グループのルーツである造船事業は、海洋立国である日本の造船の発展に貢献していくことを使命として、ユニバーサル造船株式会社との統合によって、より強力な体制に生まれ変わります。事業体制は変わりますが、これまで造船で培ってきた技術は、IHI グループに受け継がれ、さまざまな形で発展していきます。本号では、そのなかの一つであるIHI-SPB 技術についてまとめて解説致します。

読者の皆さまにおかれましては、<sup>たゆ</sup>弛まぬ研究開発が技術の繋がりや発展を生むことも感じ取っていただければ幸甚に存じます。

